

桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会
 桜井市粟殿588-7 吉田ただお事務所
 ☎/FAX:0744-46-4930
 ホームページは以下検索して下さい
 日本共産党市会議員吉田忠雄



吉田ただお 3月議会報告 2022年 5月号 No, 86号

2050年の政府のCO2排出ゼロ目標に見合う実践と責任ある取り組みを求める

【あいさつ】
 3月定例議会が3月2日から25日までの、24日間の日程で開催されました。一般質問は、新型コロナウイルス対策と「2050年CO2排出ゼロ」に向けての2点について松井市長を質しました。今回は市提出議案のうち、令和4年度一般会計予算については反対をいたしました。また、今議会では「ロシアのウクライナに対する侵攻を強く非難するとともに、対話による解決を求める」ことを全議員の賛成で決議をいたしました。

【松井市長】
 現在、本市においては、桜井市地球温暖化対策実行計画の



【吉田議員】
 政府は2030年度の削減CO2目標を、「2013年度比で46%削減」とした。本市においても2030年までの「地球温暖化対策推進計画」を策定して、市民とともに実践の先頭に立つよう責任を持った取り組みを加速することが求められるが、

【吉田議員】
 桜井市においても将来を見据えた環境

【松井市長】
 本市としても指針となる計画の策定は必要と考えている。今後、自然環境等の調和を念頭に置きながら、情報収集を積極的にこなしていきたい。



【吉田議員】
 自然エネルギーの導入に取り組むための方向性を示す「桜井地域新エネルギービジョン」の策定をおこない、市民と共有することが大事と考えるが、

【松井市長】
 事務事業編を策定している。市民をはじめ事業者、行政など、あらゆる主体が関わ

環境にやさしいゴミ袋への転換やゴミ排出量を減らす計画を

【松井市長】
 地域の地球温暖化対策、脱炭素施策にかかわる計画は必要と考えている。

【吉田議員】
 保全の取り組みが必要と考える。
 1つは、従来のゴミ袋から環境に優しいゴミ袋の転換をおこない、バイオマスプラスチック袋や再生プラスチックを活用して、市民に経済的負担がないように切り替えたかどうか。2つ目は、2025年度から稼働予定

【松井市長】
 の新しいゴミ処理施設のCO2排出量や2022年度改定の「桜井市一般廃棄物（ごみ）処理計画」のゴミ排出量を、国際基準に見合う削減計画にすべきと考えるが、

【吉田議員】
 環境に配慮したゴミ袋は価格が高いことや、強度が通常の袋より弱いなどの問題点があり、現在のところ、市の指定ゴミ袋として導入する計画はない。二酸化炭素の排出削減やゴミ排出量削減の目標

【松井市長】
 については、事業の着実な実施と施策の実効性を図りながら定めていきたい。

議員報酬の削減が決まる

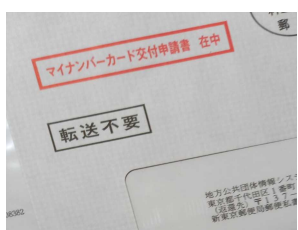
令和4年2月10日の議員報酬検討特別委員会において、議員報酬を5%削減する条例の改正案（令和4年4月1日施行）が議員全員の賛成で可決されました。

一般会計予算反対討論（要旨）

【吉田議員】
 24万円を計上している。臨時交付金については趣旨にふさわしく、新型コロナウイルス感染症対策として使うべきである。また、民生費の人

マイナンバーカード普及に新型コロナウイルス臨時交付金を使うな

【松井市長】
 の取得を促す事業に、権施策推進費の中に、新型コロナウイルスふれあいセンター費があるが、現在は市民に広く開かれたも



このような封筒が送られてきましたが...

議員報酬額		
	現行	改正後
議長	618,000円	587,000円
副議長	531,000円	504,000円
議員	498,000円	473,000円

のとして利用されているので、一般行政施設として教育費に入れるべきである。